



桜花爛漫の春を謳いたいこの季節ですが、東日本大震災の傷跡はあまりにも深いものとなりました。ご家族の皆様やご親戚の方々如何でしたでしょうか。被災され、お亡くなりになった方々に心からお見舞いお悔やみを申し上げたいと存じます。

想定外の大震災でわりましたが、賢明な先人は「これより下に住んではならぬ。」と伝え来て、代々これを守って生活してきた人々は津波の被害に遭われなかったとメディアが伝えておりました。地震津波が天災なら原子力発電は人災でしょうか。多くの人々に光を与えてきた原発、想定外の地震に脆くも崩れ去ろうとしています。

然し、これも想定外を想定して建設時に危険性を指摘されたが、当時は無視されたようです。放射能から避難を余儀なくされた人々に、光を享受してきた我々が今、何をすべきかを問われています。

みんなでがんばろう日本

「櫻」の3・11 ドキュメント？

丁度入浴タイムが終わったその瞬間でした。今までに経験の無い大揺れが「櫻」のご利用者様を驚かせました。

停電、非常灯の点灯にスタッフは一斉にご利用者様を入り口付近に集合させ、玄関を開放し様子を覗う。最初の揺れで外部の危険性が無いことが確認でき2～3度の大きな余震の際は外に避難を繰り返しスタッフは揺れの恐怖を和らげるよう勤める。

余震は落ち着いたが停電の復旧は難しいと判断災害用のランプ、電池非常食等を明るいうちに準備。最新のキッチン？電気が無ければ何も出来ない。バーベキューセットを運び出しお湯を沸かし、風呂の水は抜かずにトイレに運ぶ。非常食では難しいご利用者様のためにファミリーマートに買出しに走るスタッフ。非番のスタッフが応援に駆けつけ夜の準備に入る。

1Fのご利用者様は全員2Fに避難？停電の復旧が見込めない中、2名の夜勤者で対応する事になり布団やオムツ、薬等日常生活で必要と思われる物を2Fへ運び込む。

停電の中の起居ではあったが、ご利用者様は至ってお元気に、逆に大勢で休むことが楽しそうな雰囲気でした。スタッフも一安心でした。

余震が続く中での夜勤、非番応援のスタッフの協力で無事、朝を向かえられた事は何よりでありました。時折余震が続くが停電も復旧し普段の生活が始まりましたが、計画停電には勝てませんでした。

状況把握が困難な状況下で、スタッフが携帯の地震速報で逐一知らせることが出来たのが幸いし迅速な対応が取れました。

今回の震災を教訓としスタッフ一同ご利用者様の安全確保に更なる努力を惜しまない所存であります。ご家族の皆様にはどうぞご安心ください。

自然は美しくもあり脅威でもある:今はせめて桜に癒す



3月のお誕生会と雛祭りのスナップです。

第19回運営推進会議が終わりました。

3月29日(火)14:00～15:00 於「櫻」1F
議案等は以下の通りでした。

1. 入居者の現況及び活動状況について
2. 自己評価及び外部評価について
3. 平成22年度地域密着型サービス事業所の指導について
4. 平成23年春季火災予防運動の実施について
5. その他

委員4名、法人は理事長以下4名が出席し上記議案の報告及び質疑応答が行なわれました。

時節柄、その他の話題は大震災で持ちきりで、当日の行政、町会、「櫻」、病院等の対処等の貴重な情報交換が出来ました。



(夏が来れば思い出す・・・初夏の尾瀬)

東日本大震災から1ヶ月余が過ぎましたが、被災者は地震や津波の被害に放射能の追い討ちを受けて復旧復興の目途さえ立たず故郷を遠く離れての生活にご苦労されておられる。

日頃、原子力発電のことを忘れ、贅沢な光を享受し夜を寝ないのを美德？としてきた付けが、今この震災で如実に表れたような気がします。

都会は余りにも明るすぎる。節電節電また節電！
暗いニュースが流れる中でも季節は春、桜前線も福島仙台青森と着実に北へ向かっていく。被災地の方々も一時の風情を楽しんでもらえればと念じている昨今です。「櫻」の周りの桜前線はあつという間に通過しましたが皆さんにも外気浴を兼ね、つつじやさつきの花見どを楽しんで頂くようスタッフが計画しております。次号でまた、お元気なお姿をご紹介できればと思っております。



すかっこソーラン踊り
桜の花びらが舞い上がる生憎の小嵐であったがボランティアの皆さんの熱気にご利用者の皆さんも盛り上がり、参加されたご家族ともどもひと時を楽しんで頂きました。終わりにには踊り子と握手で大喜びでした。



(リズムに合わせ手拍子足拍子)

(すかっこに元気を貰う踊りかな)

ご家族との懇談会

催し物の都度、ご家族様との懇談を実施してまいりましたが、今までは各ユニットごとに実施してきました。今回は初めて合同の懇談会を開催。「櫻」側からのお知らせやらご家族のご質問など頂き有意義な懇談会となりました。雨の中ご参加いただきました、ご家族様に感謝申し上げます。



(コーヒータイトム&懇談会)

第19回運営推進会議報告

3月29日に開催された委員会では下記内容について話し合われました。

1. 入居者の現況及び活動状況
2. 自己評価及び外部評価結果
3. 平成22年度地域密着型サービス事業所粗銅結果
4. 春季火災予防運動の実施
5. その他 東日本大震災に関連地震の際の櫻の対応等について



季節は巡る:またこんな季節に:車山のニッコウキスゲ

ここ2ヶ月以上、福島原発と放射能のニュースが毎日の様に報じられている。避難を余儀なくされた被災者の皆様にどんな言葉をお掛けしたら良いのか腐心する毎日です。早く収束を願うばかりです。

今夏は電力不足で節電が求められています。福祉施設である「櫻」は法的節電の対象から外れておりますので、ご利用者様の生活に支障はありませんが何れにしても、照明等、可能なかぎり節電に努めて行きたいと思っています。

鬱陶しい梅雨の季節に入りましたが、ご利用者様は毎日恙なく過ごされておりますのでご安心ください。先月はグリーンハウス逗子の和太鼓演奏会に招かれ学生のダイナミックな撥さばきに感動してきました。演奏終了後には若者に教えられたながら和太鼓をたたき演奏の余韻を楽しませておりました。

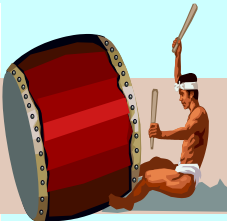
その他、葉山は花ノ木公園のつつじ観賞や花壇の手入れ等、外気浴の機会が増え気分転換を図りながら日々の生活を楽しませておられます。

事務局からのお知らせ

平成23年度 運営推進会議外部委員のご紹介
逗子市介護保険課 課長 館 兼好様
葉桜自治会 副会長 杉 浦 強 司 様
逗子市民生委員 栃 本文 江 様
ご家族代表 今 井 真 智 子 様
逗子市包括支援センター

管理者 渡 邊 誓 子 様

6月28日(火)午後2時から第20回目の運営推進会議を予定しております。



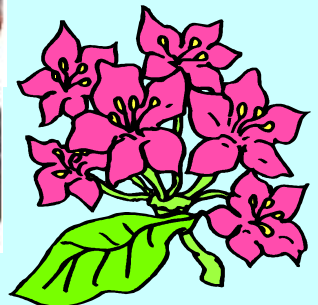
逗子開成の高・中学生の皆さんの演奏



葉山の花ノ木公園
今年も見事に咲きました。



(節句や母の日など皐月を楽しむ)



和太鼓の迫力に大満足でした。

グリーンハウス逗子で行なわれた高校生和太鼓の演奏会に参加、終了後は子供達に教えられ撥を持つ方もおられました。